

アスファルト混合物報告書

2026年2月23日

鳥取県県土整備部技術企画課長 様

製造会社

所在地 鳥取県米子市和田町2141

工場名 カネックス(株)

配合の設計条件								
混合物の種類		骨材の最大寸法		基準密度		混合温度		
密粒度ギャップ アスファルト混合物 (13)		13	mm	2.417	g/cm ³	153	℃	
空隙率		飽和度		安定度		フロー値		
3.7	%	76.6	%	10.04	kN	30	1/100cm	
D S 値								
-	回/mm							
使用材料及び配合表								
使用材料名		産地名		生産者名		配合率		備考
ストアス60-80		岡山県倉敷市水島		ENEOS (株)		5.20 %		
改質アスファルト (I型)		-		-		-		
改質アスファルト (II型)		-		-		-		
石 粉		岡山県新見市足立		足立石灰工業(株)		6.0 %		
碎石	5号	山口県周南市大字金峰		(株)鹿野興産		0.0 %		
	6号	山口県山口市宮野上入野東		石田碎石(株)		55.0 %		
	7号	岡山県真庭市神代		(株)マルケイ		6.0 %		
砂	粗目	島根県仁多郡奥出雲町		(株)サンテック		8.0 %		
	細目	鳥取県東伯郡北栄町東園		(有)永田商事		25.0 %		
	目	-		-		-		
スクリーニングス		-		-		-		
再生骨材	mm	-		-		-		
	mm	-		-		-		
添加剤 () 配合率 %		-		-		-		

骨材試験成績表

目的 配合設計

試験年月日 2026年 2月

混合物の種類 密粒度ギャップアスファルト 混合物(13)

試験者 金田道栄

試験項目		6号碎石	7号碎石	粗砂	細砂	石灰石粉			
密度	表乾	2.699	2.673	2.577	2.590	—			
	かさ	2.679	2.652	2.543	2.530	—			
	見掛	2.733	2.711	2.632	2.730	2.710			
吸水率 %		0.735	0.820	1.321	2.310	—			
すりへり減量 %		—	—	—	—	—			
安定性 %		—	—	—	—	—			
微粒分量試験 %		—	—	—	—	—			
軟石含有量 %		—	—	—	—	—			
偏平細長石片 %		4.0	—	—	—	—			
水分量 %		—	—	—	—	0.010			
単位容積質量		1.600	1.490	1.660	1.580	—			
粘土塊量 %		0.05	0.12	0.14	0.19	—			

ふるい目の開き		6号碎石	7号碎石	粗砂	細砂	石灰石粉			
通過質量百分率 %	53 mm								
	37.5								
	31.5								
	26.5								
	19	100.0							
	13.2	99.1							
	9.5		100.0						
	4.75	3.0	81.6	100.0					
	2.36	0.8	1.2	92.6	100.0				
	1.18								
	600 μm		0.3	37.5	90.9				
	300			19.3	52.3	100.0			
	150			7.8	6.4	97.9			
75			1.6	1.3	88.0				

骨材の粒径加積曲線図

目的 配合設計
 混合物の種類 密粒度ギャップアスファルト混合物(13)

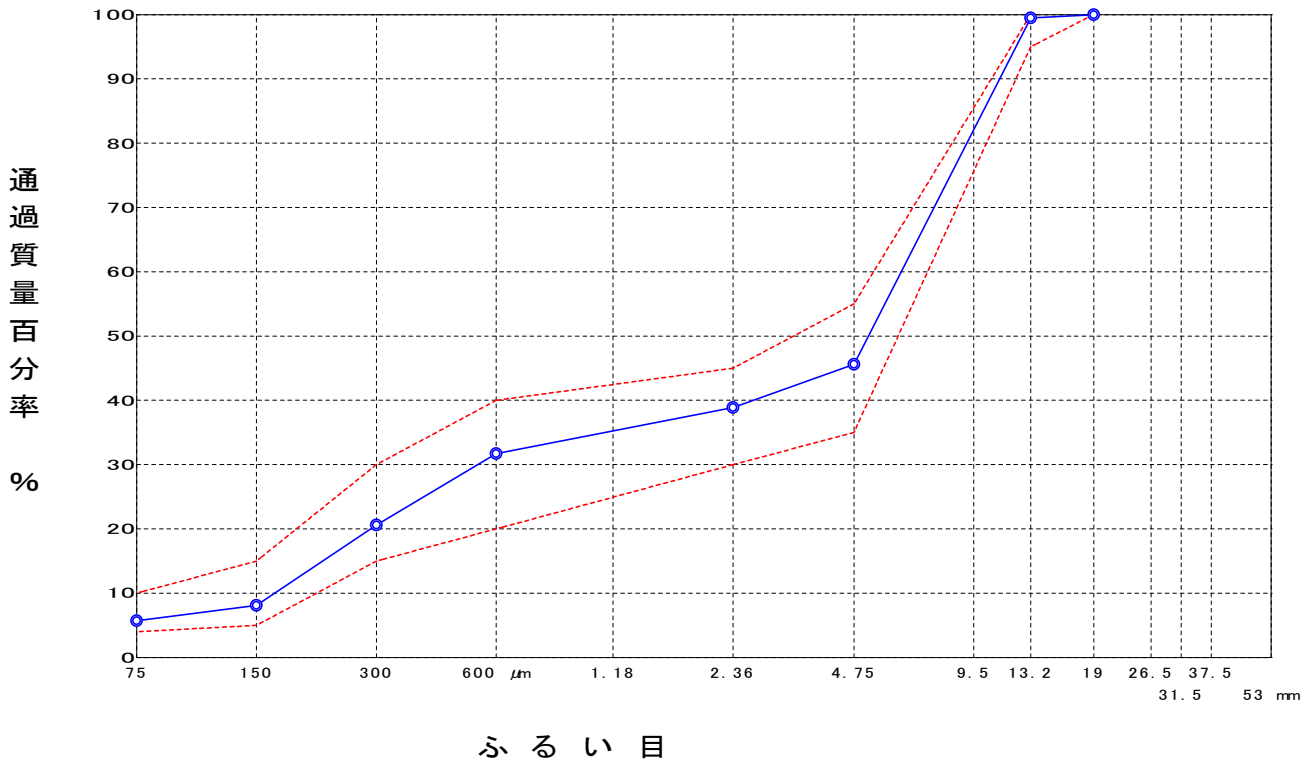
試験年月日 2026年 2月
 試験者 金田道英

5. 合成粒度

ふるい目	合成粒度		粒度範囲
	作図法	修正後	
53 mm			
37.5			
31.5			
26.5			
19	100.0	100.0	100
13.2	99.6	99.5	95 ~ 100
9.5			
4.75	50.7	45.6	35 ~ 55
2.36	37.2	38.9	30 ~ 45
1.18			
600 μm	28.7	31.7	20 ~ 40
300	19.6	20.6	15 ~ 30
150	9.9	8.1	5 ~ 15
75	7.4	5.7	4 ~ 10

6. 粒径加積曲線図

----- 粒度範囲
 ———— 修正後



混合物の理論最大密度計算表

目的 配合設計

試験年月日 2026年 2月

混合物の種類 密粒度ギャップアスファルト 混合物(13)

試験者 金田道英

① 骨 材 の 種 類	② 配合率(%)	③ 計算に用いる密度	④ ② / ③
6号砕石	55.0	2.733	20.124
7号砕石	6.0	2.711	2.213
粗砂	8.0	2.632	3.040
細砂	25.0	2.730	9.158
石灰石粉	6.0	2.710	2.214
Σ②=	100.0	Σ④=	36.749

⑤ アスファルト量 (%)	⑥ アスファルトの 密度	⑦ ⑤/⑥	⑧ $\frac{\Sigma④(100-⑤)}{100}$	⑨ ⑦+⑧	⑩ 理論最大密度 $100 / ⑨$
4.0	1.038	3.854	35.279	39.133	2.555
4.5		4.335	35.095	39.430	2.536
5.0		4.817	34.912	39.729	2.517
5.5		5.299	34.728	40.027	2.498
6.0		5.780	34.544	40.324	2.480
OAC 5.2		5.010	34.838	39.848	2.510

マーシャル安定度試験

目的 配合設計

試験年月日 2026年 2月

混合物の種類 密粒度ギャップアスファルト 混合物(13)

試験者 金田道典

アスファルトの種類 ストレートアスファルト60-80 アスファルトの密度(A) 1.038 アスファルトの温度 _____ °C

骨材の温度 _____ °C 突固め温度 _____ °C 突固め回数 50 回

試験条件	供試体番号	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬		⑭	⑮	⑯	
		アスファルト量 (%)	供試体平均厚 (cm)	空中質量 (g)	水中質量 (g)	表乾質量 (g)	容積 (cc)	密度 (g/cm³)	理論 (g/cm³)	ア容スファルト積 (A) (%)	空隙率 (%)	骨材間隙率 (%)	飽和度 (%)	安定度力計の読み	安定度 (kN)	フロー値 (1/100 cm)			
						⑤-④		③/⑥		①×⑦ (A)		⑨+⑩		⑨/⑩×100					
標準	1	4.0		1195.9	700.9	1198.2	497.3	2.405								9.11	27		
	2		1195.8	696.5	1198.0	501.5	2.384								9.86	26			
	3		1195.8	699.8	1198.3	498.5	2.399								9.48	28			
	平均							2.396	2.555	9.2	6.2	15.4	59.7		9.48	27			
標準	4	4.5		1206.4	708.5	1208.5	500.0	2.413								9.83	29		
	5		1206.0	708.9	1208.3	499.4	2.415								9.25	31			
	6		1205.9	706.9	1207.9	501.0	2.407								10.17	27			
	平均							2.412	2.536	10.5	4.9	15.4	68.2		9.75	29			
標準	7	5.0		1215.8	713.3	1218.2	504.9	2.408								10.33	31		
	8		1216.7	714.6	1218.6	504.0	2.414								9.73	28			
	9		1215.7	716.7	1217.6	500.9	2.427								9.87	31			
	平均							2.416	2.517	11.6	4.0	15.6	74.4		9.98	30			
標準	10	5.5		1226.5	718.8	1228.1	509.3	2.408								9.54	31		
	11		1226.9	722.5	1228.4	505.9	2.425								10.53	31			
	12		1226.1	718.4	1228.2	509.8	2.405								10.02	34			
	平均							2.413	2.498	12.8	3.4	16.2	79.0		10.03	32			
標準	13	6.0		1236.2	724.2	1238.4	514.2	2.404								9.94	33		
	14		1236.8	725.8	1239.0	513.2	2.410								9.51	34			
	15		1236.5	722.4	1238.7	516.3	2.395								10.31	35			
	平均							2.403	2.480	13.9	3.1	17.0	81.8		9.92	34			

$$\text{⑩} = (1 - \text{⑦} / \text{⑧}) \times 100$$

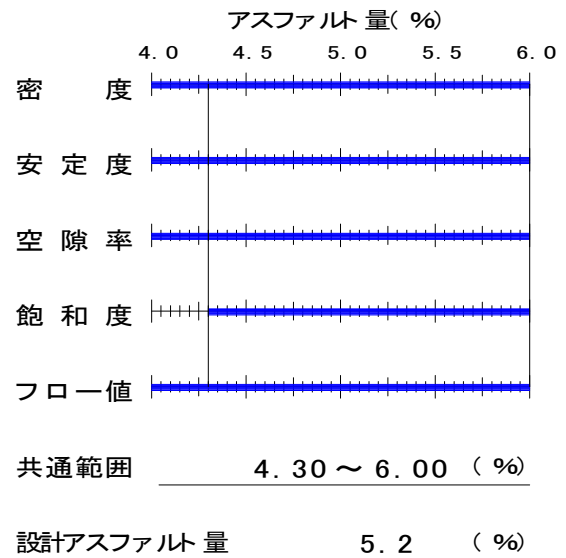
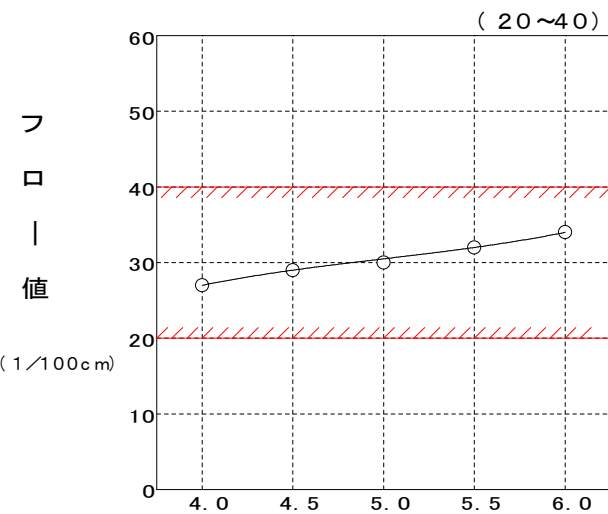
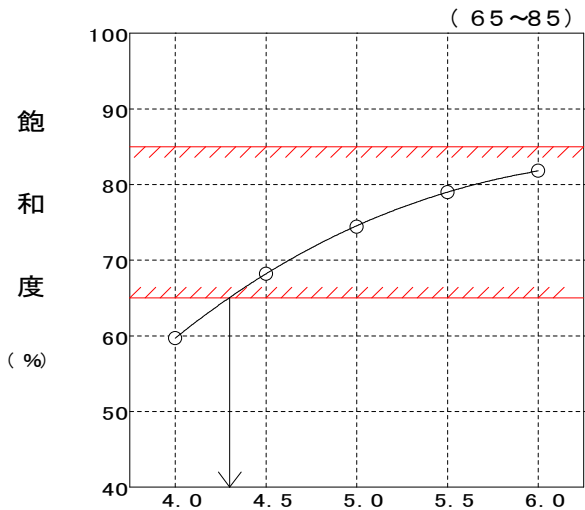
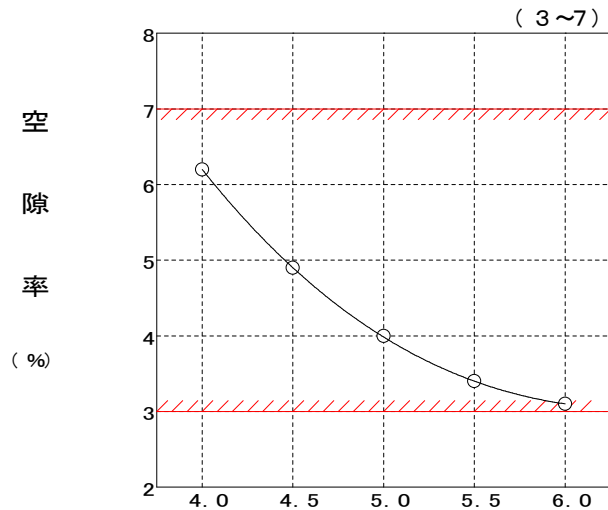
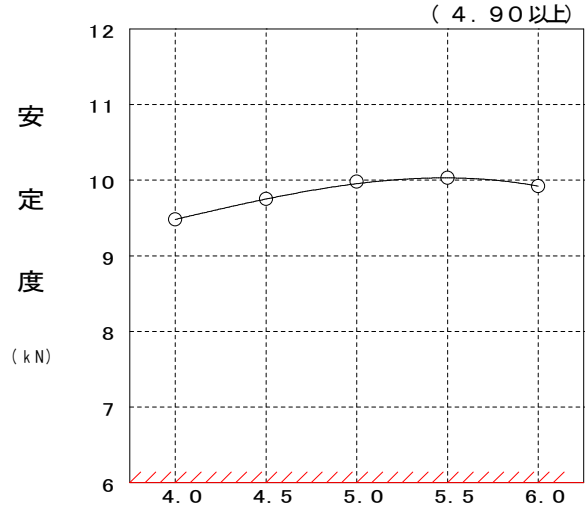
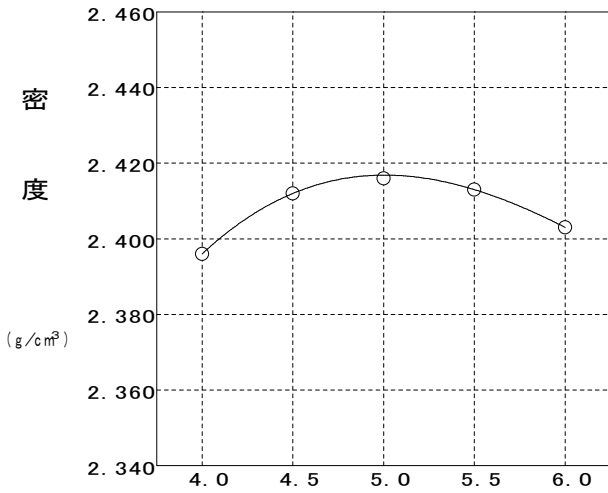
マーシャル安定度試験

目的 配合設計

試験年月日 2026年 2月

混合物の種類 密粒度ギャップアスファルト 混合物(13)

試験者 金田道典



アスファルト量 (%)

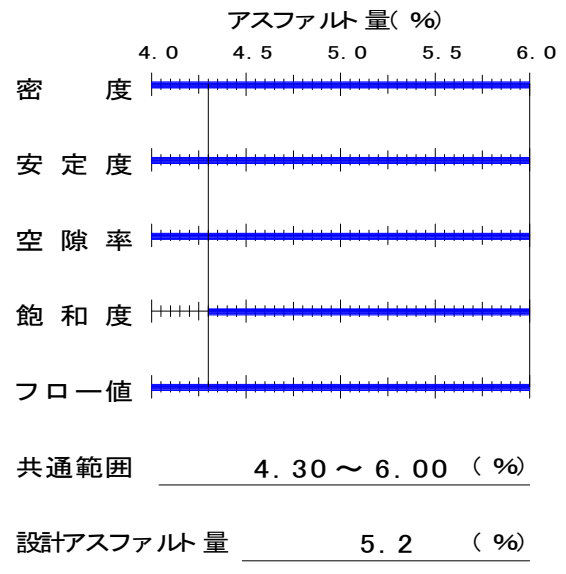
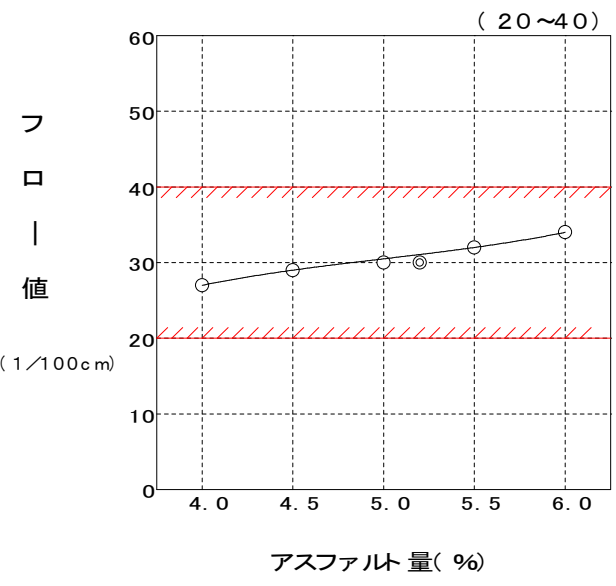
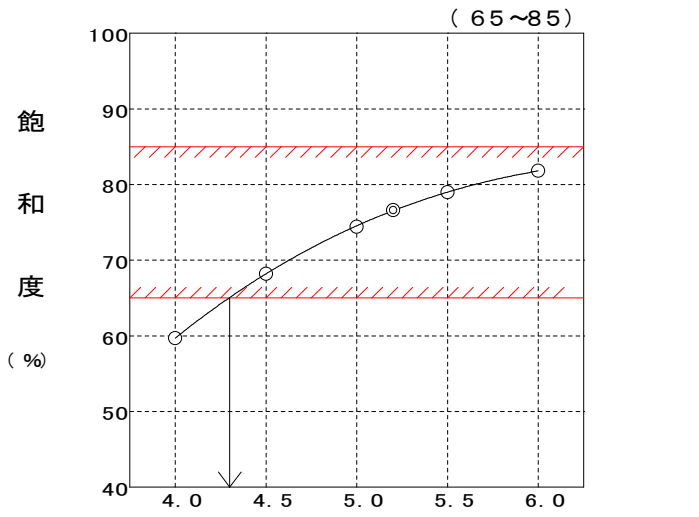
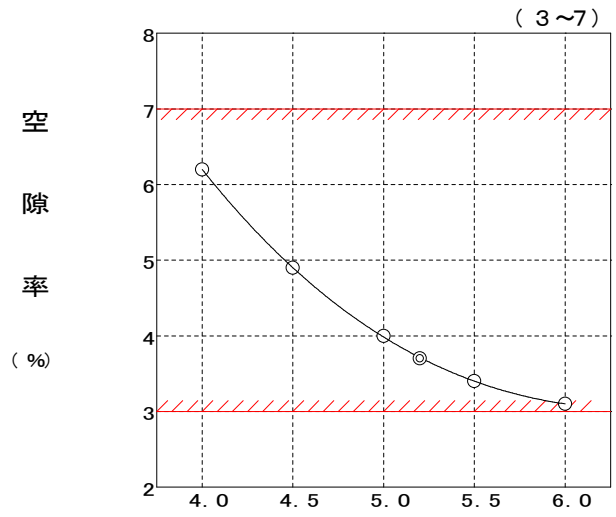
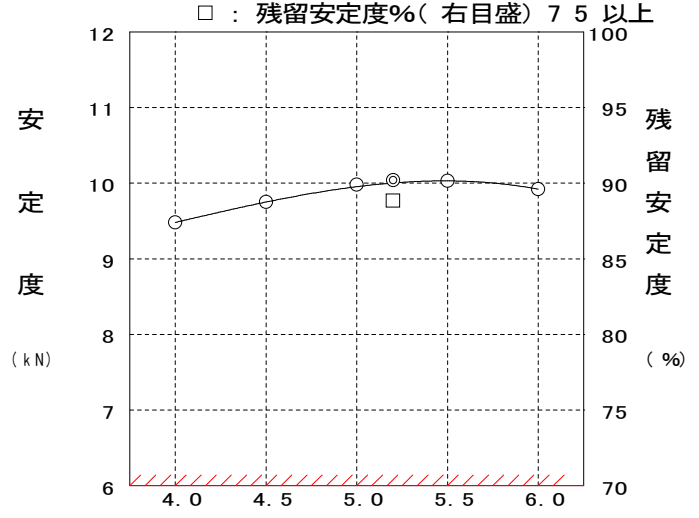
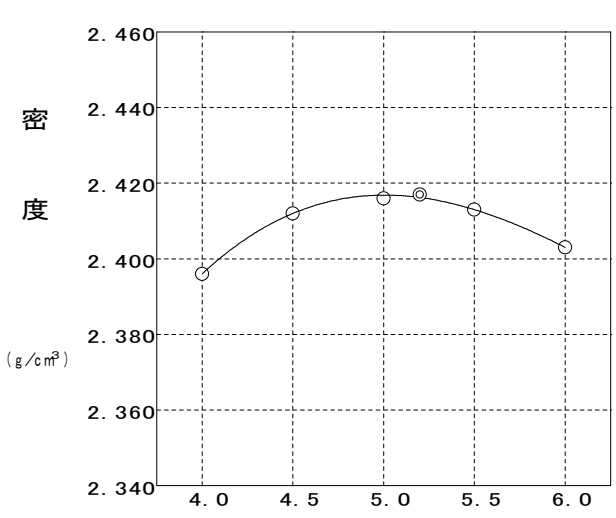
水浸マーシャル安定度試験

目的 配合設計

試験年月日 2026年 2月

混合物の種類 密粒度ギャップアスファルト 混合物(13)

試験者 金田道英



骨材の粒径加積曲線図

目的 配合設計

試験年月日 2026年 2月

混合物の種類 密粒度ギャップアスファルト 混合物(13)

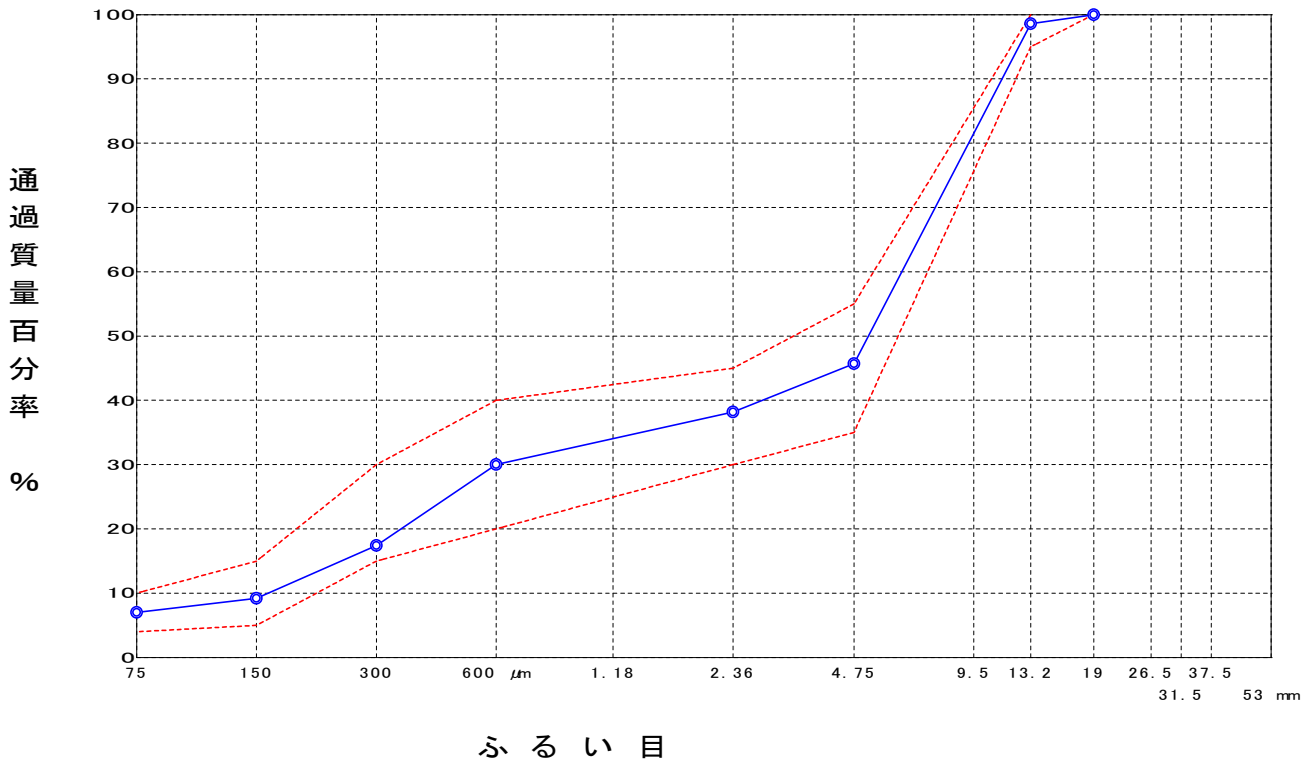
試験者 金田道英 金田

5. 合成粒度

ふるい目	合成粒度		粒度範囲
	作図法	修正後	
53 mm			
37.5			
31.5			
26.5			
19	100.0	100.0	100
13.2	98.8	98.6	95 ~ 100
9.5			
4.75	51.2	45.7	35 ~ 55
2.36	37.8	38.2	30 ~ 45
1.18			
600 μm	29.5	30.0	20 ~ 40
300	16.9	17.4	15 ~ 30
150	8.7	9.2	5 ~ 15
75	6.5	7.0	4 ~ 10

6. 粒径加積曲線図

粒度範囲
 修正後



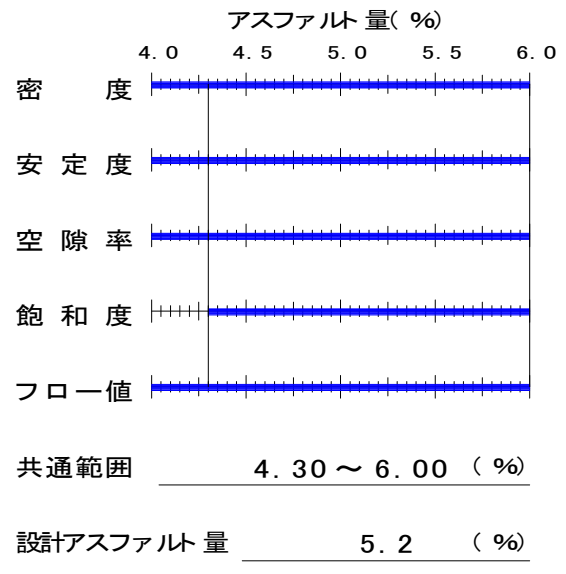
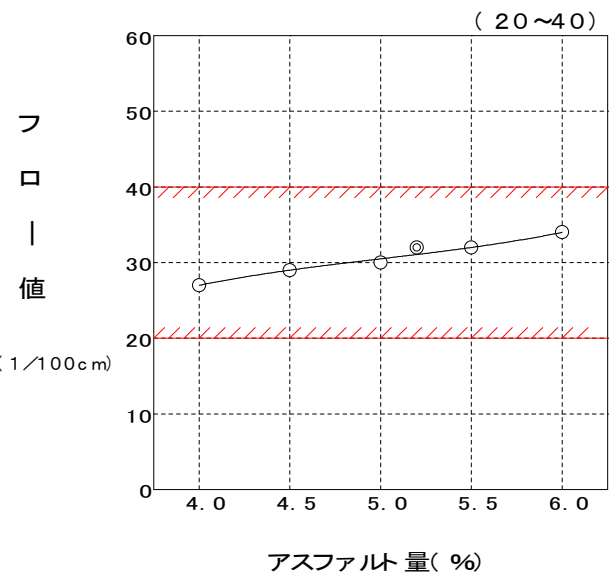
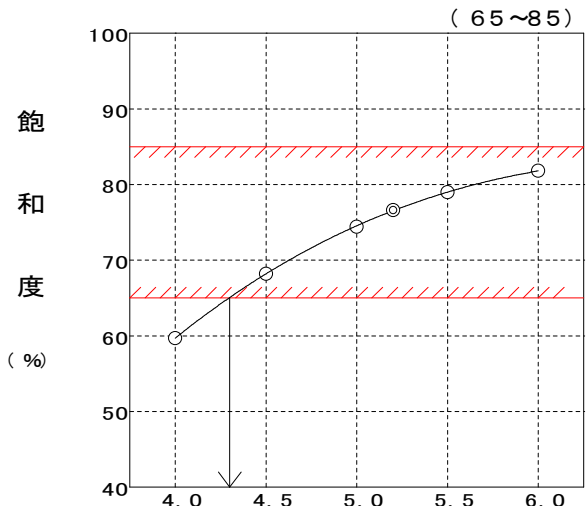
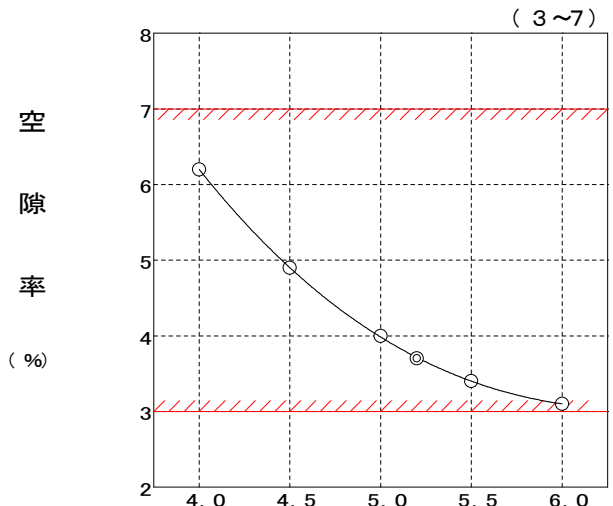
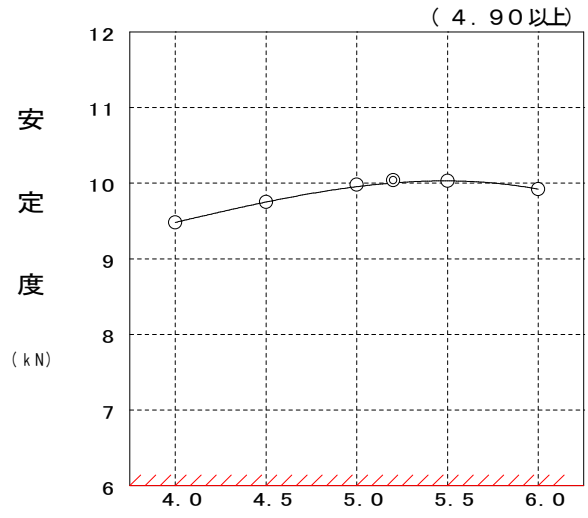
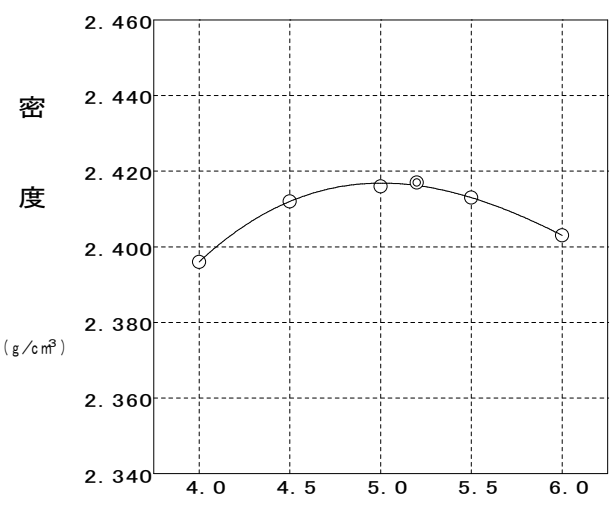
マ ー シ ャ ル 安 定 度 試 験

目 的 配 合 設 計

試 験 年 月 日 2026年 2月

混 合 物 の 種 類 密 粒 度 ギ ャ ッ プ ア ス フ ァ ル ト 混 合 物 (1 3)

試 験 者 金 田 道 英



現場配合の決定

目的配合設計

試験年月日 2026年 2月

混合物の種類 密粒度ギャップアスファルト混合物(13)

試験者 金田道英

1バッチ 2000 kg

	骨材配合比%	設計アスファルト量%	プラント配合比%	1バッチ質量(kg)	骨材累加質量(kg)
3 ビ ン	55.0		52.1	1042	1754
2 ビ ン	6.0		5.7	114	712
1 ビ ン	31.5		29.9	598	598
回 収 ダ ス ト	0.5		0.5	10.0	10.0
石 粉	7.0		6.6	132.0	142.0
ア ス フ ァ ル ト		5.2	5.2	104.0	104.0
合 計	100.0		100.0	2000.0	2000.0

混合時間..... ドライタイム 5秒 ウェットタイム 35秒